

産業廃棄物処理計画書

令和7年 6月 26日

吹田市長 殿

提出者

住所 大阪府中央区北久宝寺町3-6-1

氏名 株式会社鴻池組 大阪本店

取締役専務執行役員本店長 川口 昭則

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6245-6319

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社鴻池組 大阪本店（吹田市管轄内事業場）
事業場の所在地	吹田市管轄区域内
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項 別紙1、2のとおり	
①事業の種類	
②事業の規模	
③従業員数	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

別紙 1, 2 のとおり

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

別紙 1, 2 のとおり

①現状	【前年度 (年度) 実績】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

別紙 1, 2 のとおり

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

別紙 1, 2 のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

別紙 1, 2 のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

別紙 1, 2 のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

別紙 1, 2 のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】 別紙 1, 2 のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

韓國駐日貿易振興院(駐日韓館) 1 紙 5 頁

現状：前年度（令和6年度）実績量

計画：今年度（令和7年度）計画量

単位:トン/年

産業廃棄物の種類			排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項		自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
コード	名 称	排 出 量 (前年度実績値の①)	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②・⑧)		自ら焼却を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③・④)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		仮設認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
			現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
200	汚泥		20864.200	18777.780							20864.200	18777.780	6310.000	5879.000	20864.200	18777.780	0.000	0.000	0.000	0.000
300	漆油		2.488	2.240							2.488	2.240	2.488	2.240	0.000	0.000	0.000	0.000	2.488	2.240
500	炭プラスチック		8.400	7.560							8.400	7.560	8.400	7.560	8.225	7.403	0.175	0.158	0.000	0.000
800	木くず		145.900	131.220							145.900	131.220	2.750	2.475	146.600	131.220	0.000	0.000	0.000	0.000
1500	その他がれき類		63.080	56.772							63.080	56.772	63.080	56.772	63.080	56.772	0.000	0.000	0.000	0.000
1501	コンクリート片		2394.152	2154.737							2394.152	2154.737	2394.480	2078.532	2382.672	2153.405	1.480	1.332	0.000	0.000
1502	アスコン片		151.030	135.927							151.030	135.927	0.000	0.000	151.030	135.927	0.000	0.000	0.000	0.000
2020	建設系混合廃棄物(管理型)		60.450	54.405							60.450	54.405	34.970	31.473	45.110	40.599	15.340	13.806	0.000	0.000
2400	石綿含有産業廃棄物		44.400	39.960							44.400	39.960	44.400	39.960	0.000	0.000	44.400	39.960	0.000	0.000

[illegible]

※上記に分類できない産未発表物がある場合に限り、産欄へ産名を記入してください。
※数量に関しては、小数点以下3桁表示として記入してください。

別紙2（廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書）

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	06：総合工事業
②事業の規模	294,407百万円（2024年度完成工事高）
③従業員数	1,923名（2024年12月31日現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項（管理体制図等、別紙を参照）

別添2 管理体制図のとおり

3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	（これまでに実施した取組） ・産業廃棄物の分別排出に努める。 ・省梱包、無梱包及び再利用可能な梱包材使用を要請する。 ・現地での加工を減らし工場で加工させ、端材の発生を抑制する。 ・木製型枠の代わりにメタル型枠を使用するなど工法を検討し、廃棄物が極力発生しない工法の採用を発注者に提案する。
②計画	（今後実施する予定の取組） ・上記現状の取り組みを更に幅広く導入推進・強化する。

4 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・有用物、一般廃棄物との分別 ・廃プラスチック類の硬性・軟性の分別 ・混合廃棄物排出0に向け、品目ごとの分別徹底を推進 - 原則「紙くず」「廃プラ」「木くず」分別ボックスの設置
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・上記現状の取り組みを更に幅広く導入推進・強化する。

5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) ・実績なし
②計画	(今後実施する予定の取組) ・実績なし

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) ・実績なし
②計画	(今後実施する予定の取組) ・実績なし

7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) ・実績なし
②計画	(今後実施する予定の取組) ・実績なし

8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) ・優良認定処理業者採用のための購買調査を行う。 ・優良認定処理業者以外の処理業者の処分施設を定期的に現地視察する。 ・処理業者（混合廃棄物処理業者）の最終処分率を定期的に調査する。
②計画	(今後実施する予定の取組) ・再資源化率の高い事業者、優良認定許可を受けた事業者の優先選定を継続していく。

別添 1 処理工程図

産業廃棄物の一連の処理の工程

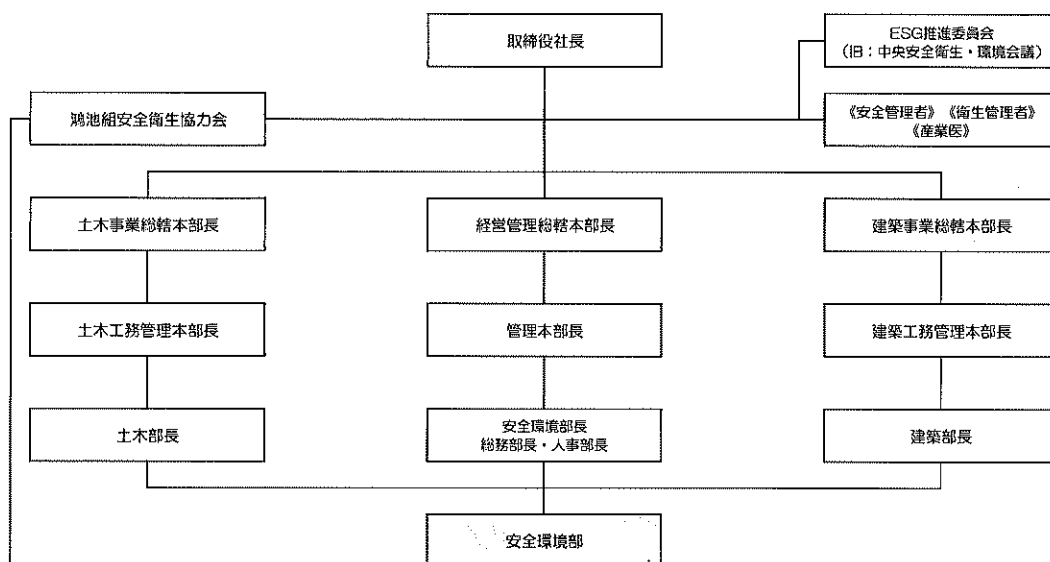
- ・ 建設汚泥→再生処理業者に委託して、脱水・固化等により再資源化
- ・ 廃プラスチック類→再生処理業者に委託して、破碎し、RPF化により再資源化、または焼却により熱回収
- ・ 廃プラスチック類→再生処理業者に委託して、破碎・焼成し、セメント原材料、再生碎石、骨材として再資源化
- ・ 廃プラスチック類→再生処理業者に委託して、選別・破碎・減容固化し、再生燃料として再資源化
- ・ 紙くず→再生処理業者に売却して、破碎・溶解し、再生紙原料として再資源化
- ・ 紙くず→再生処理業者に売却して、破碎し、再生燃料として再資源化
- ・ 木くず→再生処理業者に委託して、破碎し、パーティクルボードとして再資源化
- ・ 木くず→再生処理業者に委託して、破碎・選別し、パルプ原料として再資源化
- ・ 木くず→再生処理業者に委託して、選別・破碎し、燃料用チップとして再資源化
- ・ コンクリートがら→再生処理業者に委託して、破碎し、再生碎石として再資源化
- ・ アスファルト・コンクリートがら→再生処理業者に委託して、破碎し、アスファルト骨材として再資源化
- ・ その他がれき類→再生処理業者に委託して、破碎し、再生碎石として再資源化
- ・ 混合廃棄物（管理型）→中間処理施設において分級・縮減後、再生処理業者に委託して再資源化

別添 2 管理体制図

2025.1.1 改正

(株)鴻池組安全衛生・環境管理組織機構図

【本社機構】



【本・支店機構】

